

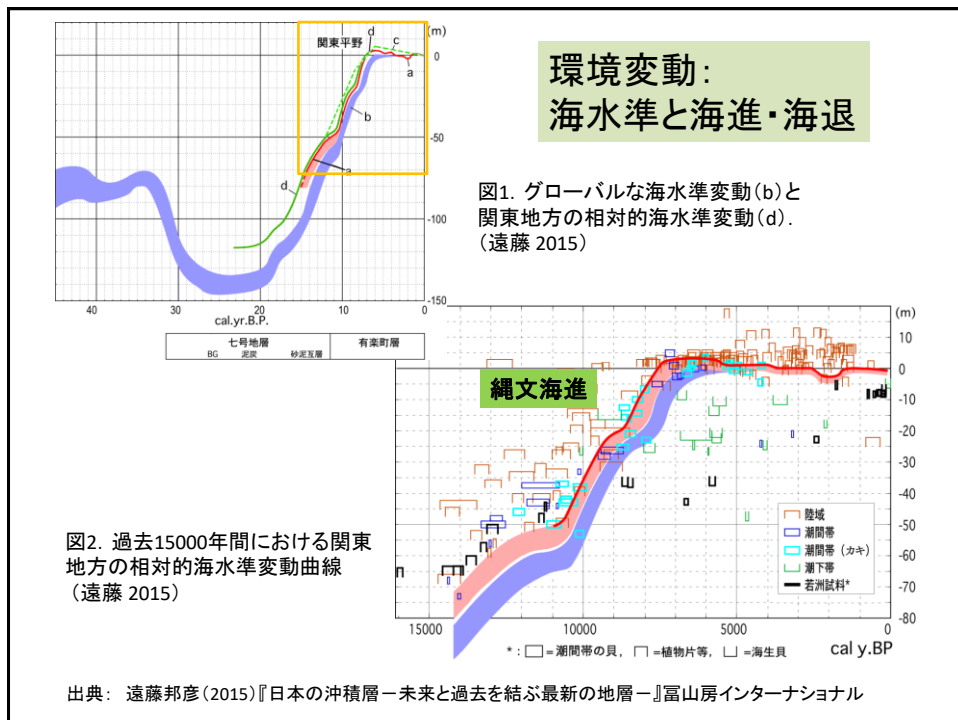
令和4年度 かながわの遺跡展「縄文人の環境適応」 特別講演(第2回) 2023.1.15

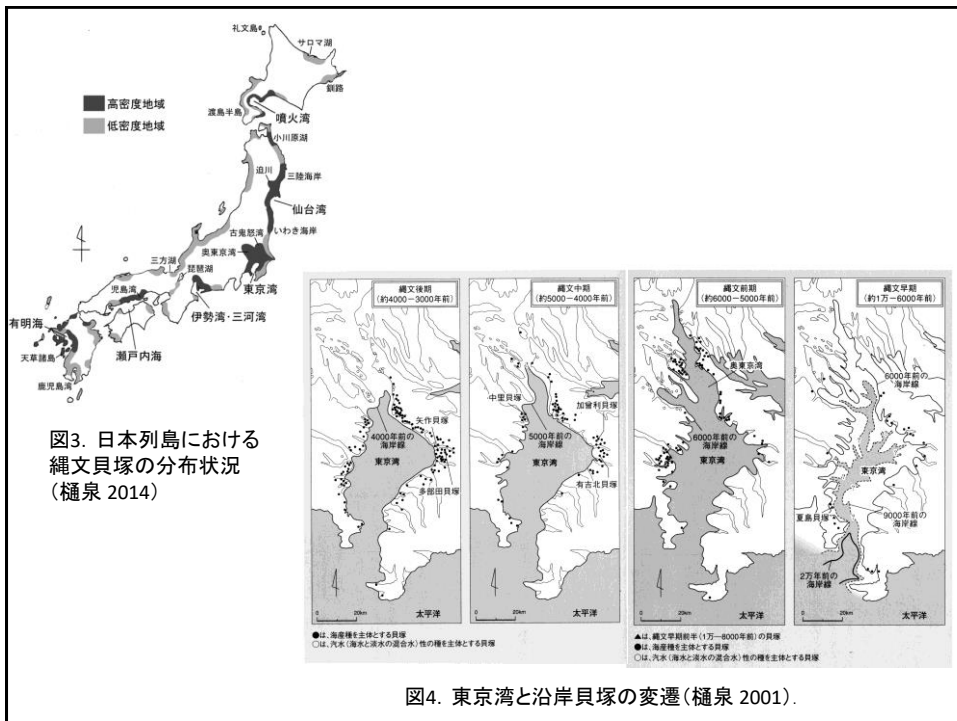
## 縄文人の狩猟・漁労と環境適応

樋泉岳二(早稲田大学)

はじめに

1. 環境変動: 海水準と海進・海退
2. 縄文早～前期: 海洋適応の始まりと発展
3. 縄文中期: 大規模貝塚の出現
4. 縄文中期末～後期初頭: 4.2kaイベントの謎
5. 縄文後期: 再び大規模貝塚の時代
6. 縄文中期～後期: 貝類の資源管理
7. 縄文晩期: 貝塚の衰退と狩猟の活発化
8. 縄文晩期: 寒冷かはあったか





### 縄文中期: 大規模貝塚の出現

**元町貝塚(横浜市)**

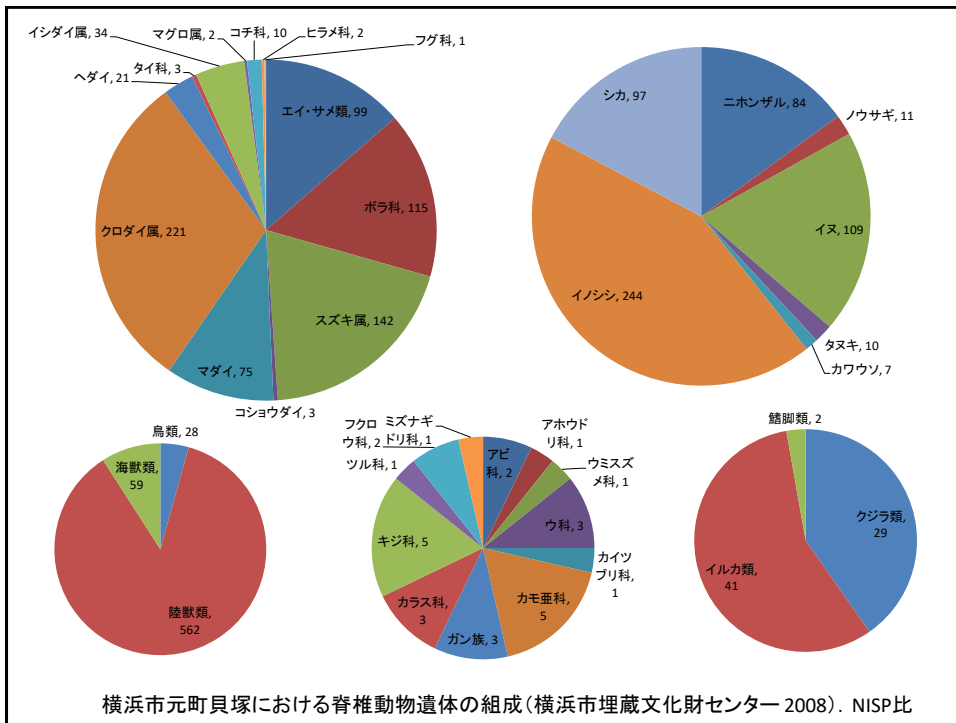
中期前葉(五領ヶ台式期)

大規模な斜面貝塚

貝類組成:

アサリ主体  
+  
マガキ・オキシジミ  
ハマグリなど  
↓  
典型的な内湾性貝塚

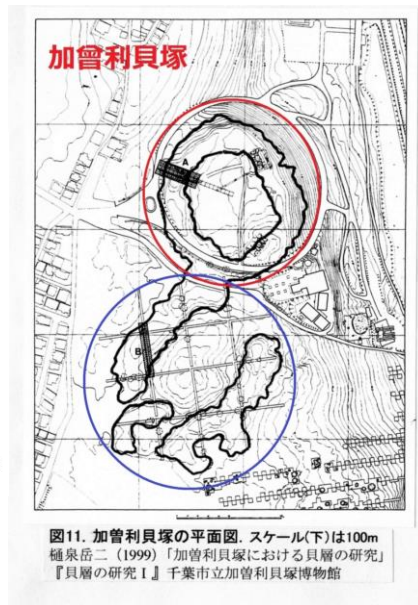
もとまち  
横浜市中区元町貝塚  
横浜市埋蔵文化財センター (写真提供)



加曾利貝塚(千葉市)



千葉市加曾利北貝塚の貝層断面 (縄文中期後半, 加曾利E式期。約4,300年前)  
ハマグリ・イボキサゴを主体とした貝殻が連綿と堆積し、厚さ1m以上の貝層を形成している 千葉市立加曾利貝塚博物館提供



縄文時代中期  
(5千~4千年前)

中里貝塚

Tokyo Bay

0 20km Pacific Ocean

### 中里貝塚(東京都北区)

中里貝塚

### 縄文中期末~後期初頭 -4.2kaイベントの謎

縄文時代中期  
(5千~4千年前)

Tokyo Bay

0 20km Pacific Ocean

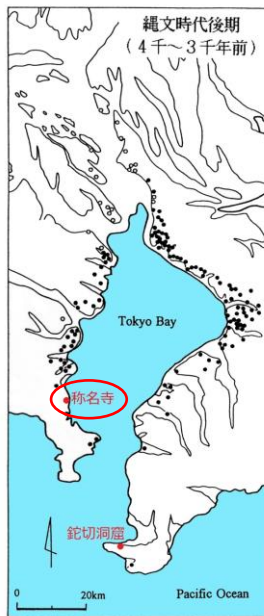
横浜市

▲ 加賀利IV 弥生前期  
■ 加賀利IV 弥生前期  
● 加賀利IV 弥生前期

60-1 東北ニュータウン地域における加賀利IV-1-5 弥生前期の集落跡の分布

(横浜市歴史博物館 2016)

## 海獣狩猟民のムラー称名寺貝塚



42-1 称名寺貝塚出土の骨角器(話頭)

左端11.7cm長。側面から見ると片側に一列の逆鋸をもつように見えるが(a)、腹面から見ると互い違いに二列であることがわかる。(b)。素直は器体を半周ないし全周し、紐縄を通すためのえぐりか入れられている(42-2)。

42-4 称名寺貝塚出土の骨角器(話頭)

左端5.2cm長。小型でも話頭としての機能は備えている。

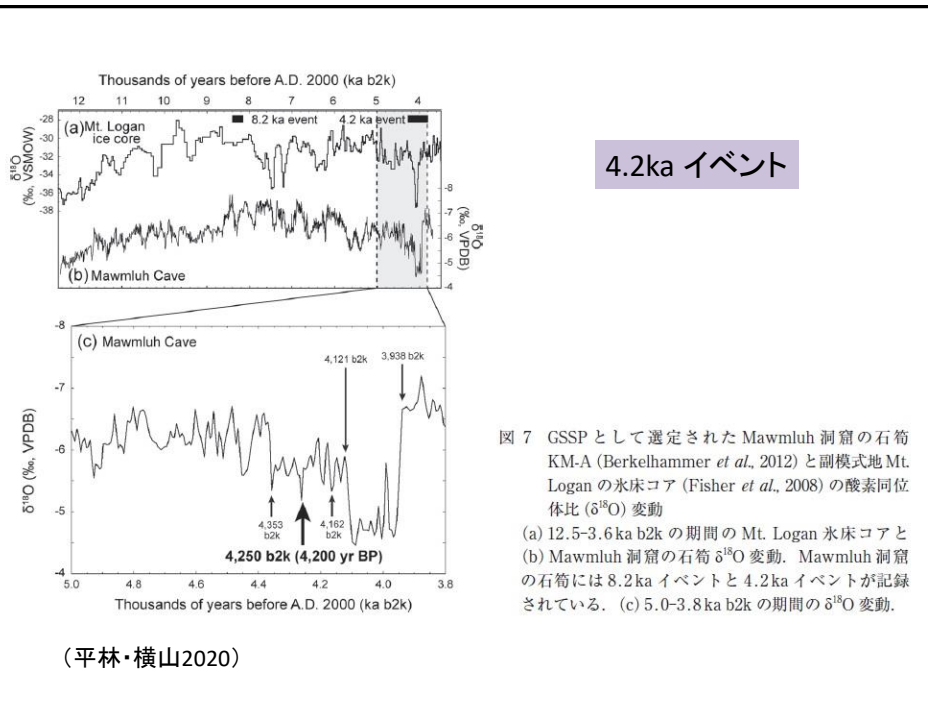
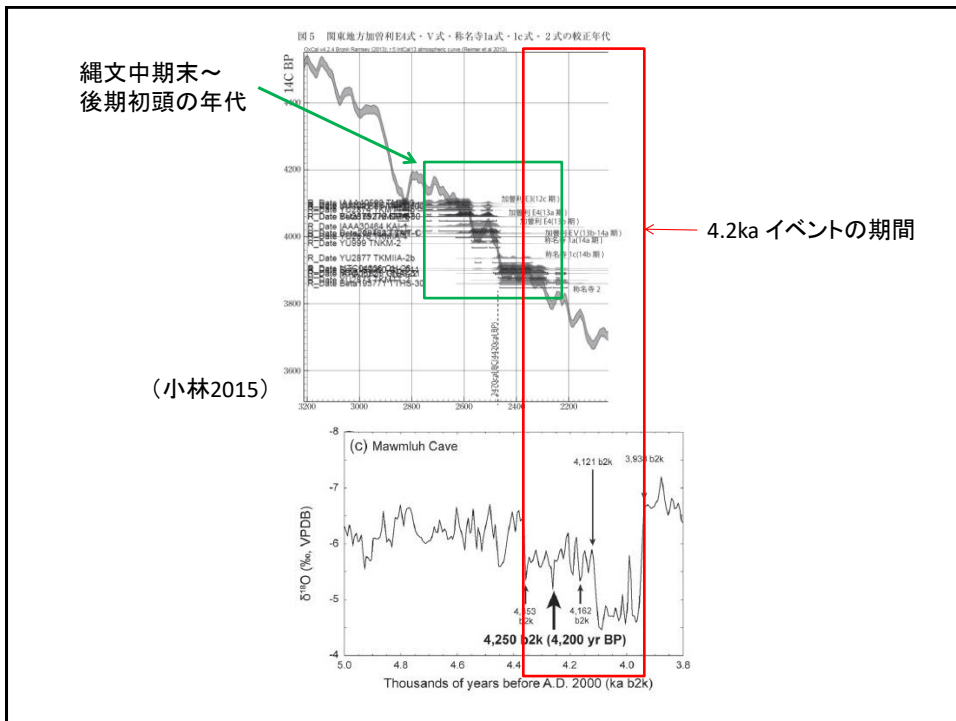


図7 GSSPとして選定されたMawmluh洞窟の石筈KM-A (Berkelhammer *et al.*, 2012)と副模式地Mt. Loganの水床コア (Fisher *et al.*, 2008)の酸素同位体比( $\delta^{18}\text{O}$ )変動

(a) 12.5-3.6 ka b2kの期間のMt. Logan氷床コアと(b) Mawmluh洞窟の石筈 $\delta^{18}\text{O}$ 変動。Mawmluh洞窟の石筈には8.2kaイベントと4.2kaイベントが記録されている。(c) 5.0-3.8 ka b2kの期間の $\delta^{18}\text{O}$ 変動。



縄文後期：ふたたび大規模貝塚の時代



杉田貝塚の貝層堆積状況

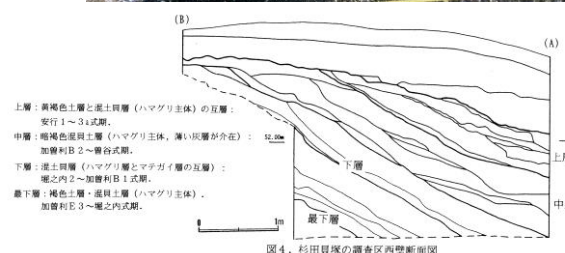
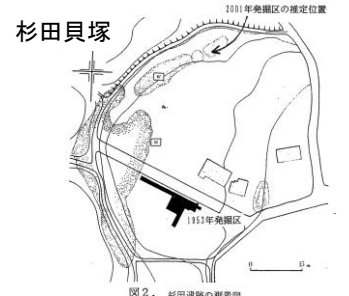


図2. 杉田遺跡の調査部

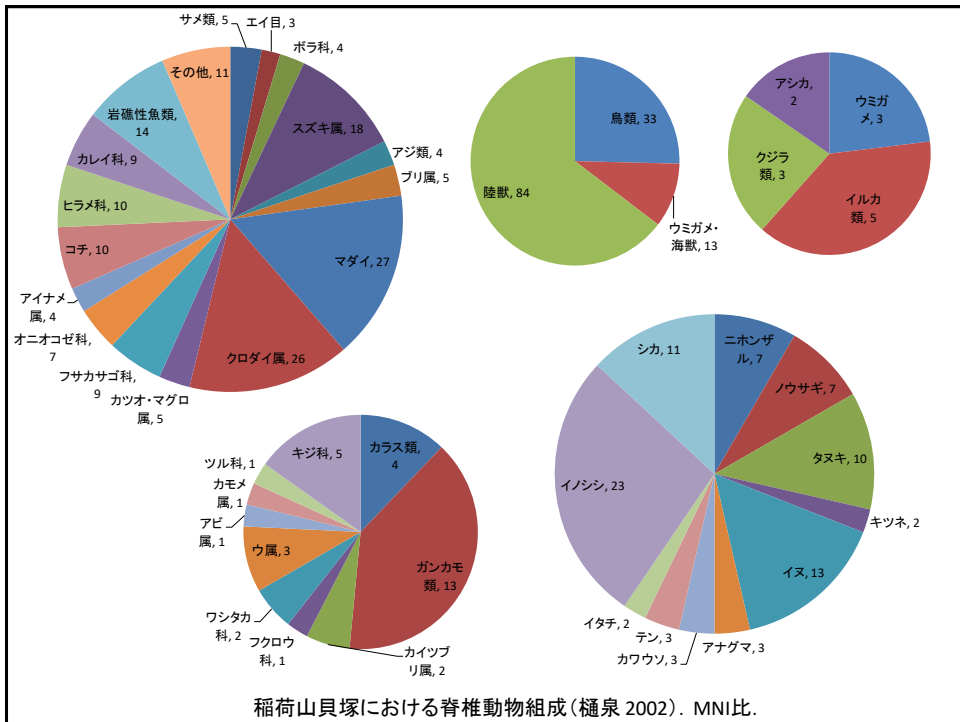
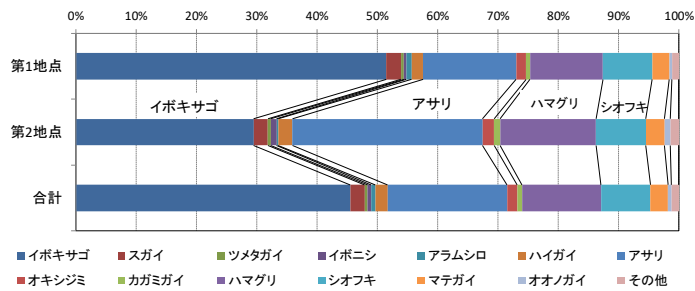
図4. 杉田貝塚の調査区西壁断面図

稲荷山貝塚(横浜市)

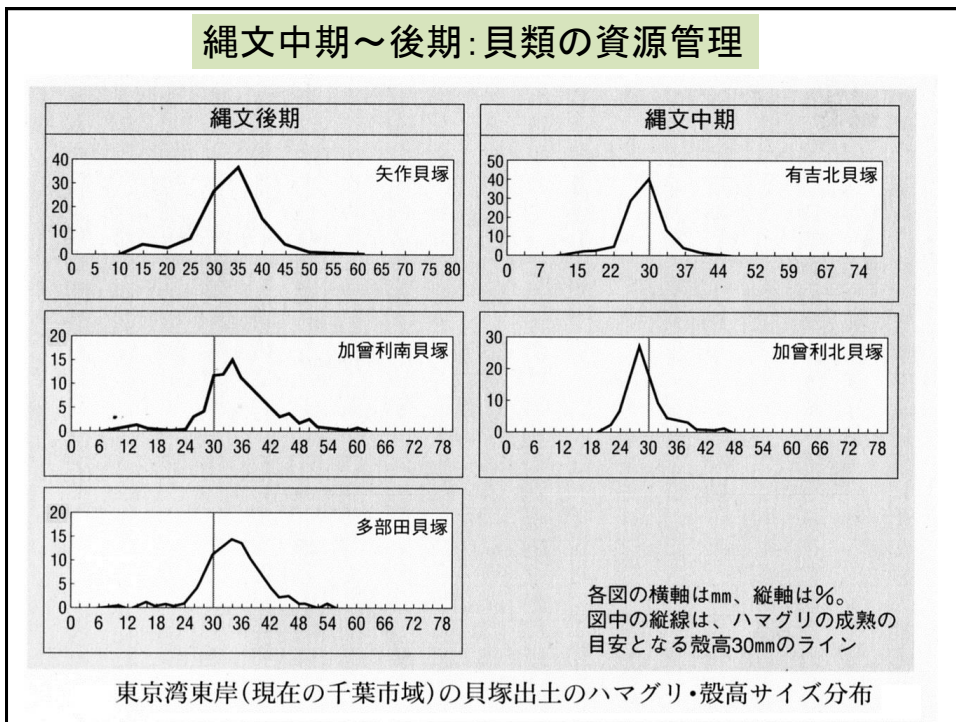


横浜市南区稲荷山貝塚の貝層

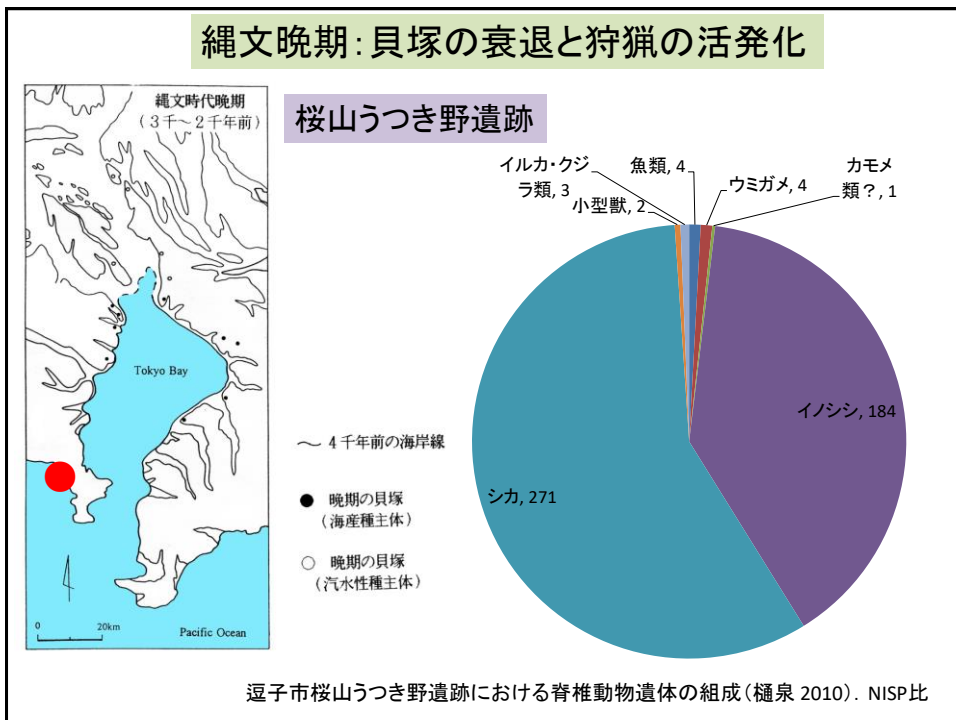
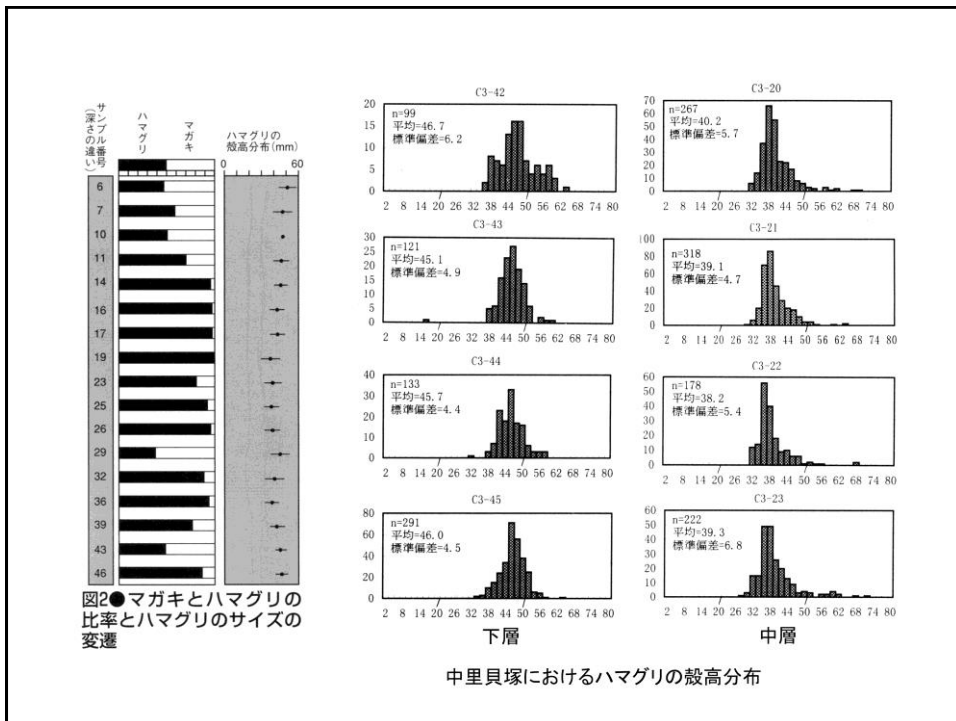
稲荷山貝塚の貝類組成 (樋泉 2002)



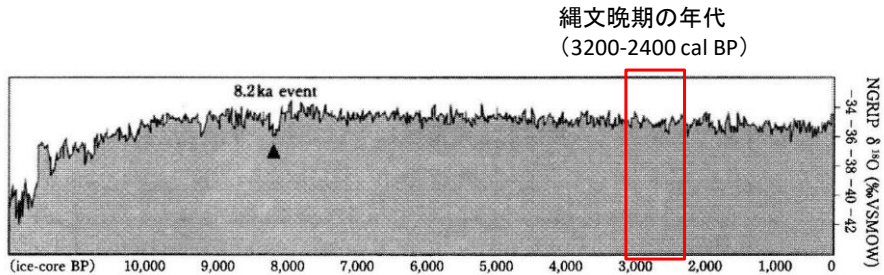
稲荷山貝塚における脊椎動物組成(樋泉 2002). MNI比.







縄文晩期: 寒冷化はあったか



グリーンランド氷床コア(NGRIP)に示された完新世の気候変動

動物遺体から「寒冷化」は認められるか

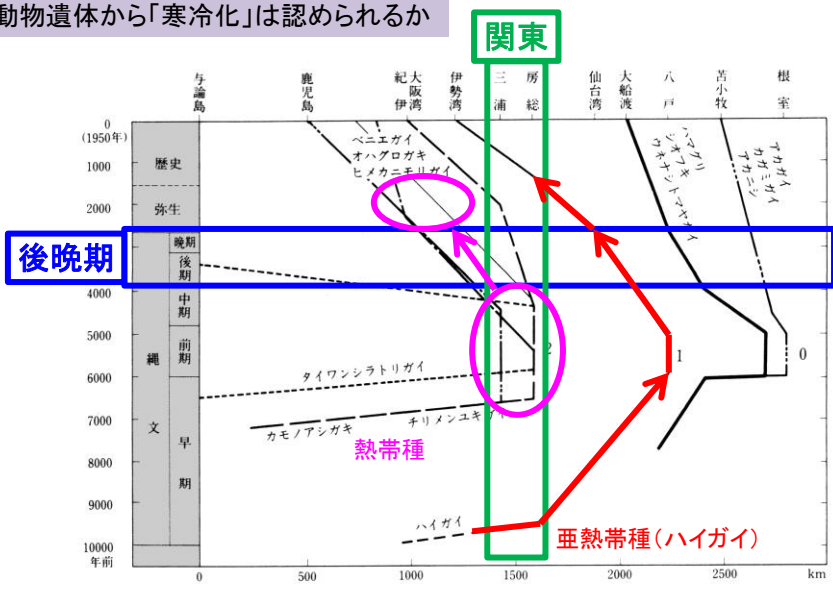


図22 日本列島太平洋岸にみられる縄文海進にもなう温暖種の時空分布(松島, 1984)に加筆  
0 : 温帯種、1 : 亜熱帯種、2 : 熱帯種

日本列島太平洋岸における完新世の貝類温暖種の分布変遷(松島1984)

### 図・データの出版

- 遠藤邦彦(2015)『日本の沖積層－未来と過去を結ぶ最新の地層－』富山房インターナショナル
- 工藤雄一郎(2012)『旧石器・縄文時代の環境文化史 高精度放射性炭素年代測定と考古学』  
新泉社
- 小林謙一(2015)「横浜市内出土縄紋土器付着物の炭素14年代測定研究」『人文研紀要』81
- 樋泉岳二ほか(2000)「貝類遺体」『中里貝塚』北区教育委員会
- 樋泉岳二(2001)「貝塚の時代－縄文の漁労文化」『NHKスペシャル日本人はるかな旅第3巻森が  
育てた海の王国』日本放送出版協会
- 樋泉岳二(2002)「稲荷山貝塚の動物遺体群」『稲荷山貝塚－根岸米軍(11)法面整備工事に伴う  
発掘調査－』かながわ考古学財団
- 樋泉岳二(2010)「桜山うつき野遺跡の動物遺体群」『桜山うつき野遺跡Ⅱ(第2次調査)』かながわ  
考古学財団
- 樋泉岳二(2014)「漁撈の対象」『講座日本の考古学4 縄文時代(下)』青木書店
- 平林頌子・横山祐典(2020)「完新統/完新世の細分と気候変動」『第四紀研究』59
- 松島義章(1984)『貝が語る縄文海進－南関東、+2°Cの世界 増補版』有隣新書
- 横浜市歴史博物館(2016)『称名寺貝塚 土器とイルカと縄文人』横浜市歴史博物館
- 横浜市埋蔵文化財センター(2008)『中区No.2遺跡(元町貝塚)発掘調査報告』横浜市ふるさと歴史  
財団